

近畿建設リサイクル表彰	会長賞
受賞者	田中建材 株式会社
所在地	滋賀県 高島市 今津町
受賞テーマ	木質加熱アスファルト舗装（ハーモニーロードウッド） 「再生木質を容積の70～80%使用」

【取組概要】

- ・ 廃木材をチップ化後、高温のアスファルトと加熱混合し、公園、河川敷遊歩道並びにサイクリングロード、ジョギングコース、市街地一般歩道部、施設・集団住宅外構部等のバリアフリー空間などに活用する技術確立した。
- ・ 従来均一に混合することが困難であった比重の小さい木質と比重が大きく粘度の高いアスファルトを独自の技術を機械化し均一に混合することを確立した。
- ・ これまでの木質加熱アスファルト舗装が追求してきた「断熱性と低蓄熱性による都市部の夜間のヒートアイランド現象の低減」「木質焼却処分時に大気放出される温暖化ガスを舗装部に固定」「歩行者、ジョガーの膝関節等への負担軽減」等々のメリットをレベルアップさせた。
- ・ アスファルト舗装で相対的強度を表す等値換算厚(TA)を木質アスファルトとして初めて計算可能にし、舗装構成を計算から導き出し車両対応を検討できる唯一の技術である。
- ・ 一定の規模であれば現場で発生した樹木を現場で破碎チップ化し、場内の舗装材として利用可能なため廃棄物発生やエネルギー使用を抑制。持ち出し搬入の抑制による安全性、周辺交通環境の向上等のメリットが得られる。
- ・ 耐候性や防食効果に優れたアスファルトの利用により10年以上が経過し表面が摩耗しても木質チップは腐食や傷みを生じず、廃棄処分することなく再加熱による再利用も可能である。

【評価のポイント】

- ・ 加熱アスファルトへの利用は難しいとされていた解体工事由来の木くず等を、木質加熱アスファルト舗装へリサイクルする技術確立しており、「木質アスファルト発泡特許」は、加熱アスファルトでは国内唯一の技術であることから、先進的な取り組みとして評価できる。



移動式混合機械



ハーモニーロードウッド